

一般会計当初予算 今年度は28億371万円

3月に開かれた第3回町議会定例会で、平成20年度のまちの当初予算が承認されました。

今年度の一般会計の予算規模は約28億371万円。昨年度当初に比べ約0・38割減りましたが、ほぼ同じ規模の予算となっています。

また、今年度も約3310万円の歳入が不足し、3年連続で、いわゆる「赤字予算」となりましたが、1年でも早く赤字を解消するため、行政改革大綱・プランをもとに、支出を抑えたり、まちの皆さんにも負担をお願いしながら、財政健全化に取り組んできました。その結果、昨年度当初と比べると大幅に赤字額は減りました。

引き続き厳しい財政状況ではありますが、出生祝い制度を復活させたり、根雨小学校体育館耐震診断を行うなど、最低限必要な事業には取り組む予算を編成しました。

一般会計予算

歳入

自主財源は全体の23%^{※1}

まちに入ってくるお金（歳入）は、町税や負担金、使用料、手数料など、まちが自主的に収入にできる自主財源と、地方交付税や町債、国・県からの支出金など、国や県から支払われたり割り当てられたりする依存財源の2つに大きく分けられています。

平成20年度のまちの一般会計の当初予算では、自主財源は総額6億5448万円。歳入全体の約23%^{※1}です。依存財源の総額は21億4924万円で、歳入全体の約77%^{※2}を占めます。

内訳は、国から交付される

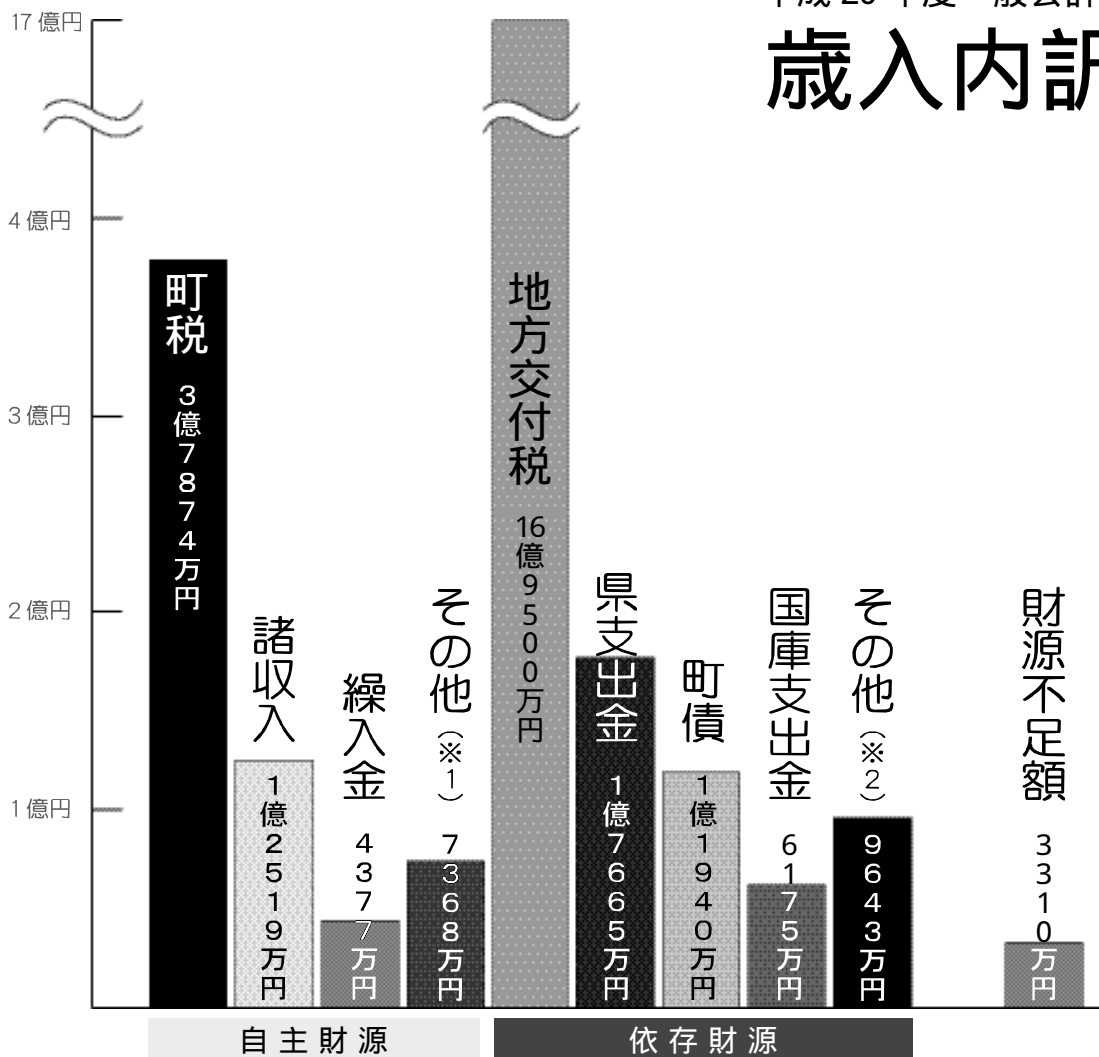
地方交付税が16億9500万円（昨年度当初より5500万円増）、事業に伴って入ってくる県支出金が1億7665万円（昨年度当初より735万円増）となっています。また、事業を行うためにお金を借りる町債1億1940万円（昨年度当初より220万円減）などを見込んでいます。

過去2年と同じく今年度も赤字予算

今年度の当初予算では3310万円の財源が不足しており、昨年度と同じように雑入に計上し、収支のバランスを取りました。

平成20年度一般会計当初予算

歳入内訳



その他(1) 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入・寄付金
 その他(2) 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、地方消費税交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金